

久留米市内単位互換協定校

久留米大学 久留米工業大学 聖マリア学院大学 久留米信愛短期大学 久留米工業高等専門学校

令和3年度 久留米市内単位互換協定校による

「共同講義」 開講のお知らせ

受講料
無料

テーマ「久留米における暮らしと未来

～SDGsの実現に向けて～

久留米市では、市内にある5校の大学等が単位互換協定を締結したことにより、毎年多数の科目が公開され、学生の皆さんが他の大学等の講義を履修した場合に、所属する大学等の単位として認定ができるようになっております。

この単位互換の一環として単位互換協定に参加している5校の大学等と久留米市が連携して、毎年一つのテーマを認定し、各校の個性や特色を活かした講座を開講する「共同講義」を実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴いオンライン講座にて、市民公開の共同講義を以下のように開講します。様々な視点から学ぶことができる貴重な機会ですので、意欲と関心のある学生・市民の皆様の多数の参加をお待ちしています。



日時 2021年 10月1日 (金) ~ 11月26日 (金) 13時00分アップロード

「Moodle」によるオンライン講座 (オンデマンド形式)

主催 高等教育コンソーシアム久留米

定員 50名

共催 久留米学術研究都市づくり推進協議会

※申し込み期間：9月1日 (水) ~ 9月17日 (金)

10/1 (金)	1 貧困をなくそう	久留米信愛短期大学 講師 園田 和江 幼児教育から考える子どもの貧困 ～包括的なシステムづくりへ～	10/29 (金)	8 働きがいも経済成長も	久留米市 新産業創出支援課 藤木 千香・津留崎 瞳 「元氣な久留米!!」を目指した産業振興
10/5 (火)	2 気候変動に具体的な対策を	久留米信愛短期大学 准教授 眞部 真紀子 私たちの街・久留米の食品ロス問題と取組 ～“もったいない”が久留米を救う～	11/5 (金)	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	久留米工業大学 教授 東 大輔 高齢者の活躍を支援する対話型AI自動運転モビリティ
10/8 (金)	3 すべての人に健康と福祉を	聖マリア学院大学 准教授 浅野 美智留 講師 川上 桂子 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し福祉を促進する	11/9 (火)	10 人や国の不平等をなくそう	久留米工業大学 准教授 巽 靖昭 日本における経済的不平等の現状と、久留米市での取り組み
10/12 (火)	4 質の高い教育をみんなに	久留米大学 教授 江藤 智佐子 地域・社会をつなぐ教育のかたちについて考えてみよう	11/12 (金)	11 住み続けられるまちづくりを	久留米市 都市建設課 江崎 正雄 交通政策課 永松 克 「住み続けたいまち久留米」を目指して
10/15 (金)	4 質の高い教育をみんなに	久留米市 教育センター長 松本 良一 未来の学び、未来の教育にチャレンジ	11/16 (火)	12 つくる責任 つかう責任	久留米大学 准教授 大場 はるか 筑後地域の暮らしと海外とのつながりを意識しよう
10/19 (火)	5 ジェンダー平等を促進しよう	久留米市 男女平等推進センター所長 酒井 香 誰もが自分らしく生きるために ～ジェンダー平等を考えよう～	11/19 (金)	13 気候変動に具体的な対策を	久留米大学 教授 梶原 晃 わたしたちができる、みどりとうみの保護と気候変動対策
10/22 (金)	6 安全な水とトイレを世界中に	久留米工業高等専門学校 教授 田中 大 世界の水事情とその解決策の一つとしての太陽熱海水淡水化蒸留器	11/26 (金)	17 パートナーシップで目標を達成しよう	聖マリア学院大学 准教授 秦野 環 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
10/26 (火)	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	久留米工業高等専門学校 准教授 山本 哲也 再生可能エネルギー技術について	全15回:オンデマンド講義出席+レポート提出		

申込・お問い合わせ先

高等教育コンソーシアム久留米
サテライト・キャンパス事務室
TEL・FAX : 0942-32-7622

申し込みは下記URLよりお願いします

<https://forms.gle/qJRpUA9pySRciAW46>



開講日	講師	演題	講義内容
10/1 (金)	久留米信愛短期大学 講師 園田 和江	幼児教育から考える子どもの貧困 ～包括的なシステムづくりへ～	貧困を世代間連鎖させないために、子どもと保護者がエンパワメントされ主体的に生活課題に取り組めるシステムづくりが求められています。 本講義では、科学的な根拠に基づく幼児教育・保育の質向上に重点を置いた包括的なシステムづくりについて考えます。
10/5 (火)	久留米信愛短期大学 准教授 眞部 真紀子	私たちの街・久留米の食品ロス問題と取組 ～“もったいない”が久留米を救う～	2050年までに、世界の人口は100億人に達すると予測され、資源・水・食料不足などの課題に直面するといわれています。現状を知り、今からできる、私たちができる、誰でもできる取組を一緒に考えてみましょう。
10/8 (金)	聖マリア学院大学 准教授 浅野 美智留 講師 川上 桂子	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	健康な生活は物質的豊かさや死亡率が少ないことだけでは測れないものです。自分がより健康に生きる暮らしを共に考えてみませんか？それが自分の孫子の暮らしに、本当に豊かで健康な社会を残すことになるかもしれません。
10/12 (火)	久留米大学 教授 江藤 智佐子	地域・社会をつなぐ教育のかたちについて考えてみよう	ソーシャルキャピタルとしての地域・社会における人と人とのつながり、学校と地域・社会をつなぐ教育のかたちについて考えてみましょう。
10/15 (金)	久留米市教育センター 所長 松本 良一	未来の学び、未来の教育にチャレンジ	子供たちを取り巻く現状や、今、学校で進められているG I G Aスクール構想などの新しい教育の流れについて知り、久留米の子どもたちの未来の学び、未来の教育に必要なことを考え提案しましょう。
10/19 (火)	久留米市 男女平等推進センター 所長 酒井 香	誰もが自分らしく生きるために ～ジェンダー平等を考えよう～	オリンピック関係で、「わきまえる」発言などが話題となりました。 世界から見て、日本のジェンダー平等意識はどうなっているのでしょうか。 SDGsの観点から一緒に学びましょう。
10/22 (金)	久留米工業高等 専門学校 教授 田中 大	世界の水事情とその解決策の一つとしての太陽熱海水淡水化蒸留器	日本は水資源に恵まれた国ですが、世界では急激な人口増加と工業化に伴って水資源の枯渇が大きな問題となっています。世界各地の水事情の問題を紹介するとともに、水不足の解決策の一つとしての、太陽熱海水淡水化蒸留器の研究について紹介します。
10/26 (火)	久留米工業高等 専門学校 准教授 山本 哲也	再生可能エネルギー技術について	CO2を始めとした温室効果ガスは地球の温暖化の原因と言われており、世界で温室効果ガス削減に取り組んでいます。温室効果ガスを排出しない太陽光、風力、地熱等の再生可能エネルギーについて学び、利用拡大への取り組みについて考えてみましょう。
10/29 (金)	久留米市 新産業創出支援課 藤木 千香・津留崎 瞳	「元気な久留米!!」を目指した産業振興	活力ある街であるためには、元気な会社・産業があって、やりがいを持って働く人達がいることが大切です。 久留米市の未来に向けた産業振興の取り組みについて、ご紹介します。
11/5 (金)	久留米工業大学 教授 東 大輔	高齢者の活躍を支援する対話型AI自動運転モビリティ	少子高齢化は先進各国が抱える大きな社会課題ですが、見方を変えれば高齢者は豊富な経験と優れた人格を有する貴重な人材であり、体力の衰えからくる移動の不安を軽減できれば社会で活躍する機会や需要は多いと言えます。本講義では、久留米工業大学が国内有数の企業各社と連携して開発を進めている対話型AI自動運転モビリティを紹介し、高齢者の皆さんの社会参画と活躍を支える新たな移動支援サービスについて皆さんと共に考えます。
11/9 (火)	久留米工業大学 准教授 巽 靖昭	日本における経済的不平等の現状と、久留米市での取り組み	所得格差や資産格差など、解決しなければならない経済的不平等の問題が、国内にも国際間にも存在します。ここでは、日本における経済的不平等の現状を解説し、その解消を目指す久留米市での取り組みを紹介します。
11/12 (金)	久留米市 都市計画課 江崎 正雄 交通政策課 永松 克	「住み続けたいまち久留米」を目指して	人口減少・少子高齢化が今後も進展していく中において、住み続けたいまちにするために、ネットワーク型のコンパクトな魅力あふれる都市づくりについて考えてみましょう。
11/16 (火)	久留米大学 准教授 大場 はるか	筑後地域の暮らしと海外とのつながりを意識しよう	筑後地域の私たちの暮らしと、それを支えてくれている海外の人たち、海外出身の日本在住者の人たちの暮らしに思いをはせ、「つくる責任 つかう責任」について考えてみましょう。
11/19 (金)	久留米大学 教授 梶原 晃	わたしたちができる、みどりとうみの保護と気候変動対策	私たちが生活を営む筑後は、山や平野の「みどり」と豊かな「うみ」を「かわ」でつなげている、非常にユニークな地域です。 「かわ」でつなぐ「みどり」の生態系の保護が、気候変動対策にどのように貢献できるかについて、じぶんごととしてとらえるきっかけを一緒に考えましょう。
11/26 (金)	聖マリア学院大学 准教授 秦野 環	持続可能な開発のための実施手段を強化しグローバル・パートナーシップを活性化させる	SDGsが目指す「だれ一人取り残さない」を達成するために、ご自身が持つ能力を活用し、グローバル・パートナーシップに参加しましょう。

申込期間 9月1日(水)～9月17日(金) ※定員(50名)に達し次第締め切らせて頂きます

出願手続 学生の皆さんの履修や出願手続については、所属校の窓口にお問い合わせください。

- ★久留米大学 御井学舎事務部教務課 TEL : 0942-44-2071 / FAX : 0942-43-4413
- ★久留米工業大学 教務課 TEL : 0942-22-2348 / FAX : 0942-21-8770
- ★聖マリア学院大学 教務課 TEL : 0942-35-7271 / FAX : 0942-34-9125
- ★久留米信愛短期大学 教務課 TEL : 0942-43-4532 / FAX : 0942-43-2531
- ★久留米工業高等専門学校 学生課 TEL : 0942-35-9314 / FAX : 0942-35-9319

連携校以外の方のお申し込みは、サテライト・キャンパス事務室(表面のQRコード)にてお願いします。

